

ラジオ簡易同録装置更新

送出部

はじめに

ラジオの同録としては、3カ月分の保存が義務付けられている法定同録装置が稼働していますが、不体裁や放送事故が発生したと思われる時に即座に放送内容を確認できる簡易同録装置もラジオマスターに設置されています。

今回、ラジオ簡易同録設備を更新しましたのでその概要について報告します。

これまで

旧簡易同録は2007年に設置されたもので、4台のDVDレコーダーを使用し、江別（当初ステレオ）と道内ローカル6局の音声を1週間分常時収録していました。この他にradikoの出力コーデックモニターOUTも別のDVDレコーダーで収録しています。9年以上の連続稼働でHDD寿命によるフリーズや録画停止が頻発するようになってきたため、このたび更新となりました。

構成

FM補完放送が開始されたこともあり、収録対象は江別（AIR）・ローカル6局（送信所送り返し）のモノラル7素材、FM（AIR）・radikoのステレオ2素材、合計で9素材。映像は従来同様、0Aデータ画面（アナログ映像）となります。

アナログ入力に対応した録画機は

DVDやHDDは既に発売終了しており、新品の在庫があっても一点物や素性の知れない物ばかりで価格も高騰している状態。BR（ブルーレイ）レコーダーも数年前までは多くの機種にアナログ入力が装備されていましたが、現在では下位機種からはアナログ入力は省かれ、かろうじて上位機種にやっとアナログ対応のものを見つけることができる現状です。

使用することの無いBRドライブ・トリプル地デジチューナーが内蔵されているものを購入するのは若干不本意ではありますが、2台のBRでFMとradikoのステレオ素材を収録します。6時間毎に1素材として計1週間分を収録し、毎週自動更新されます。

DVR

ローカル6局の音声を4チャンネルデジタルレコーダー（DVR）2台で収録します。

今回、使用するDVRはもともと防犯カメラ用の製品で、アナログ映像・音声を4チャンネル常時同時収録するものです。また、収録中断することなく再生・ダビング・設定変更も可能になっています。

今回、導入した機種映像圧縮方式はH.264、音声圧縮方式はG.722です。G.722は音声帯域が7kHzまでなのでAM送信所の送り返し収録にはかろうじて

適していますが、FM や radiko には使えません。内蔵 HDD は 1TB。1 台目で札幌・函館・室蘭の 3 素材を、2 台目で旭川・網走・帯広・釧路の 4 素材を収録し、1 台目は過去およそ 15 日分、2 台目はおよそ 11 日分までさかのぼっての再生が可能です。(録画時間確保のため、映像フレームレートは 10fps に設定しています。)

DVR 自体はネットワーク接続することで、遠隔の PC やスマートフォンでのライブ・録画再生や監視項目メール送信にも対応していますが、回線の確保・セキュリティ面からネットワーク接続はせず、スタンドアロンで運用しています。

おわりに

防犯カメラの世界でも HD 化は相当進行しており、今回導入の DVR も在庫限りで販売終了になりました。SD アナログの製品入手は困難になり始めています。



【簡易同録システム】